

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的としている。

2 調査事項

- (1) 幼児、児童及び生徒の発育状態（身長、体重、座高）
- (2) 幼児、児童及び生徒の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

3 調査対象

幼稚園、小学校、中学校、高等学校のうち、文部科学大臣が指定する学校。
調査実施学校数、調査対象幼児・児童・生徒数は、次のとおりである。

区分	学校数 (校)	幼児・児童 生徒数 (人)	調査実施 学校数(校)	調査対象者数 (人)	
				発育状態	健康状態
幼稚園	104	9,560	29	989	1,418
小学校	174	47,786	57	5,286	26,190
中学校	99	26,785	37	4,273	14,751
高等学校	45	25,711	24	2,064	15,432

注) 1 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

- 2 中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。(以下同じ。)

4 調査の期日

平成26年4月から6月までの間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。

(※報告書利用上の注意)

当報告書に掲載されている平成26年度の全国値はすべて速報値である。